

# 野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース

## 運用報告書(全体版)

第29期 (決算日2021年8月23日)

作成対象期間 (2021年2月23日～2021年8月23日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2006年8月28日から2026年8月24日までです。	
運用方針	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式 (預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。) への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
25期(2019年8月22日)	14,979	350	10.9	270.02	5.2	97.4	—	1,666
26期(2020年2月25日)	15,087	500	4.1	289.34	7.2	98.5	—	1,415
27期(2020年8月24日)	15,094	550	3.7	337.52	16.7	97.7	—	1,298
28期(2021年2月22日)	18,140	800	25.5	408.16	20.9	97.9	—	2,182
29期(2021年8月23日)	19,300	1,000	11.9	425.14	4.2	97.3	—	19,904

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円ヘッジベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。

\*MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2021年2月22日	18,140	—	408.16	—	97.9	—
2月末	18,006	△0.7	389.34	△4.6	93.2	—
3月末	18,392	1.4	405.99	△0.5	94.1	—
4月末	19,528	7.7	426.74	4.6	94.1	—
5月末	19,847	9.4	420.92	3.1	95.2	—
6月末	20,491	13.0	434.75	6.5	96.3	—
7月末	21,052	16.1	443.51	8.7	96.6	—
(期末)						
2021年8月23日	20,300	11.9	425.14	4.2	97.3	—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Bコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落 率	期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
25期(2019年8月22日)	14,705	350	6.4	280.76	2.2	98.6	—	4,570
26期(2020年2月25日)	15,299	550	7.8	313.52	11.7	98.5	—	4,584
27期(2020年8月24日)	15,061	550	2.0	357.15	13.9	97.8	—	4,404
28期(2021年2月22日)	18,327	800	27.0	434.98	21.8	97.5	—	5,537
29期(2021年8月23日)	19,976	1,000	14.5	466.10	7.2	97.3	—	23,030

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。

\* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰 落 率	騰 落 率				
(期 首) 2021年2月22日	円	%		%	%	%
	18,327	—	434.98	—	97.5	—
2月末	18,310	△ 0.1	417.55	△ 4.0	93.1	—
3月末	19,146	4.5	448.45	3.1	94.2	—
4月末	20,292	10.7	467.67	7.5	94.1	—
5月末	20,826	13.6	465.19	6.9	95.2	—
6月末	21,434	17.0	481.20	10.6	96.3	—
7月末	21,835	19.1	486.61	11.9	96.6	—
(期 末) 2021年8月23日	円	%		%	%	%
	20,976	14.5	466.10	7.2	97.3	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

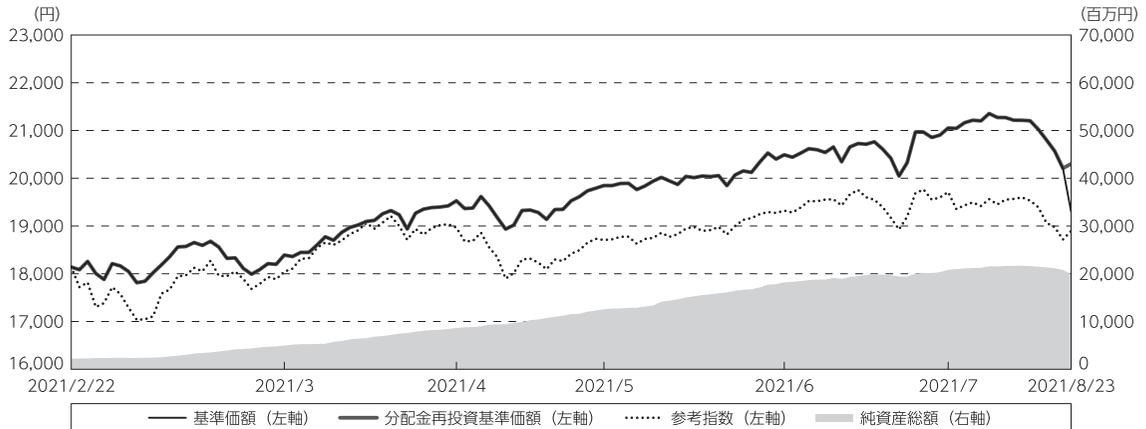
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Aコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首：18,140円

期 末：19,300円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率： 11.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年2月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2021年2月22日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,140円から期末19,300円となりました。

- (上昇) 2021年3月に、2月の米雇用統計が市場予想を上回る改善を示したこと、米国で1.9兆ドル規模の「米国救済計画」が成立したこと
- (下落) 米国の長期金利の上昇が警戒されたこと、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などが懸念されたこと
- (上昇) 4月に、米国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、米景気の回復基調が強まるとの見方が広がったこと、米国の堅調な1-3月期企業決算や実質GDP(国内総生産)成長率などが好感されたこと、欧州企業の堅調な決算発表が続いたこと、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和策の維持を決定したこと

## <Aコース>

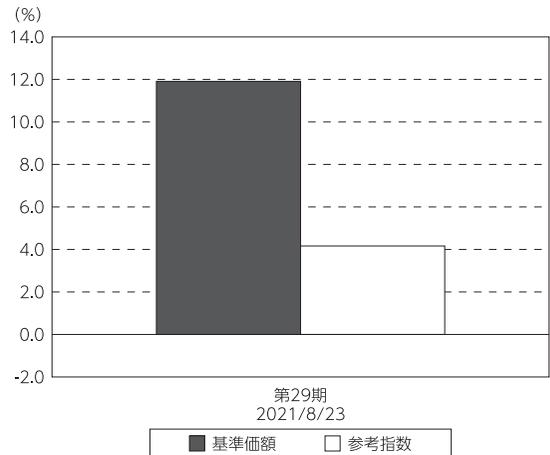
- (下落) 5月に、4月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を上回り長期金利が上昇したこと、4月の中国PPI（卸売物価指数）上昇率が市場予想を上回るなどしインフレ警戒感が高まったこと
- (上昇) 6月に、5月の米雇用統計を受け米長期金利が低下基調となったこと、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、5月のユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）が上方修正されるなど底堅い経済指標が発表されたこと
- (上昇) 7月に、市場予想を上回る4－6月期の米企業決算発表が相次いだこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受け量的緩和の早期縮小観測が後退したこと、ECBが金融政策の先行き指針を変更し超低金利政策を粘り強く続ける方針を示したこと
- (下落) 8月に、新型コロナウイルスの変異型の感染が世界各地に拡大したこと、中国習主席による「高所得への規制」強化が打ち出され一部の欧州高級ブランド株が下落したこと

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）の4.2%の上昇に対し、基準価額は11.9%の上昇となりました。主な差異要因としては、保有上位のアメリカン・エクスプレス株（米国・クレジットカード会社）やロレアル（フランス・化粧品メーカー）などが上昇したことなどがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド一般消費財・サービス指数（円ヘッジベース）です。

## &lt;Aコース&gt;

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第29期
	2021年2月23日～ 2021年8月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 4.926%
当期の収益	861
当期の収益以外	138
翌期繰越分配対象額	9,299

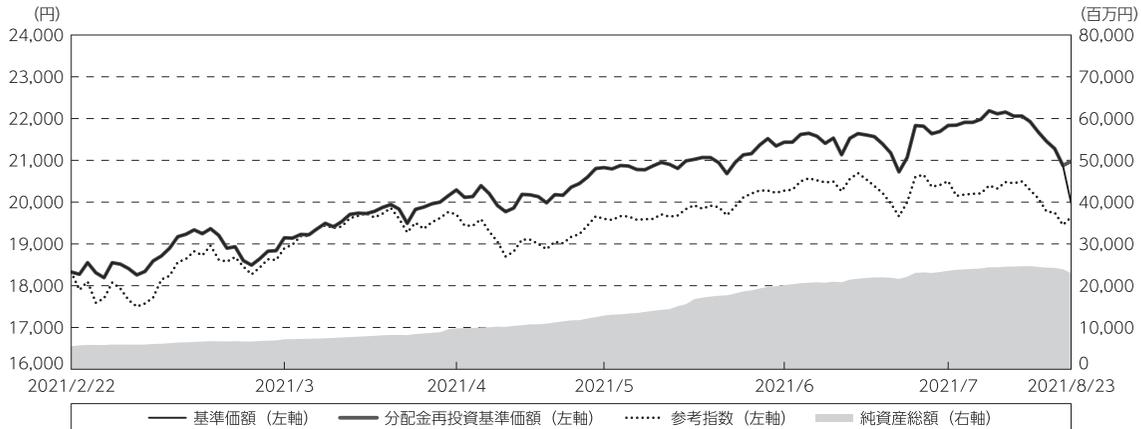
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首：18,327円

期 末：19,976円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率： 14.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年2月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2021年2月22日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,327円から期末19,976円となりました。

- (上昇) 2021年3月に、2月の米雇用統計が市場予想を上回る改善を示したこと、米国で1.9兆ドル規模の「米国救済計画」が成立したこと
- (下落) 米国の長期金利の上昇が警戒されたこと、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などが懸念されたこと、為替市場でドル安・円高となったこと
- (上昇) 4月に、米国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、米景気の回復基調が強まるとの見方が広がったこと、米国の堅調な1-3月期企業決算や実質GDP(国内総生産)成長率などが好感されたこと、欧州企業の堅調な決算発表が続いたこと、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和策の維持を決定したこと、為替市場でユーロ高・円安が進んだこと

## <Bコース>

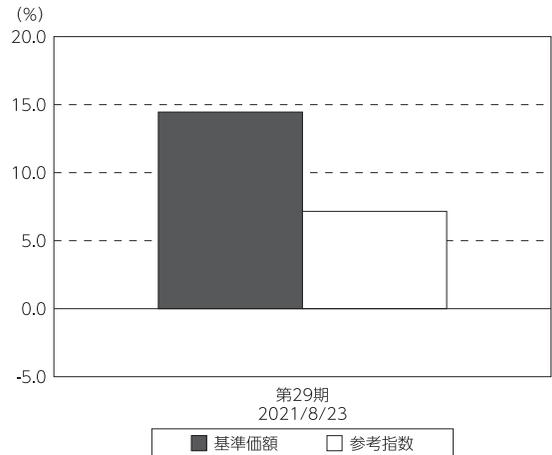
- (下落) 5月に、4月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を上回り長期金利が上昇したこと、4月の中国PPI（卸売物価指数）上昇率が市場予想を上回るなどしインフレ警戒感が高まったこと
- (上昇) 6月に、5月の米雇用統計を受け米長期金利が低下基調となったこと、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、5月のユーロ圏製造業PMI（購買担当者景気指数）が上方修正されるなど底堅い経済指標が発表されたこと
- (上昇) 7月に、市場予想を上回る4－6月期の米企業決算発表が相次いだこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）を受け量的緩和の早期縮小観測が後退したこと、ECBが金融政策の先行き指針を変更し超低金利政策を粘り強く続ける方針を示したこと
- (下落) 8月に、新型コロナウイルスの変異型の感染が世界各地に拡大したこと、中国習主席による「高所得への規制」強化が打ち出され一部の欧州高級ブランド株が下落したこと、為替市場でユーロ安・円高が進んだこと

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の7.2%の上昇に対し、基準価額は14.5%の上昇となりました。主な差異要因としては、保有上位のアメリカン・エクスプレス株（米国・クレジットカード会社）やロレアル（フランス・化粧品メーカー）などが上昇したことなどがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第29期
	2021年2月23日～ 2021年8月23日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.767%
当期の収益	894
当期の収益以外	105
翌期繰越分配対象額	9,976

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Aコース/Bコース&gt;

**○投資環境**

世界株式市場は、新型コロナウイルス向けのワクチン接種が進展する中、景気回復期待を背景に上昇基調となりました。その後、米国で早期利上げ観測が高まり一時下落に転じましたが、米当局者による早期利上げ観測を打ち消す発言などから持ち直し、反発しました。期末にかけ、変異型新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたほか、中国で習主席により「高所得への規制」強化が打ち出されたことなどを受け下落に転じましたが、好調な企業業績や景気回復期待などを背景に株式市場は総じて堅調な推移となりました。

為替市場では、コロナ後の世界経済正常化期待などからユーロが対ドルで下落して始まりましたが、米国の早期利上げ観測が後退する中、その後反発に転じました。しかし、ECBが金融政策の先行き指針を変更し、超低金利政策を粘り強く続ける方針を示したことなどから、ユーロは再び対ドルで下落する展開となりました。一方、ドル円レートは、米国の早期利上げ観測などを背景にドル高基調となりました。

**○当ファンドのポートフォリオ**

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース] および [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

**[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド]****・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

**・期中の主な動き**

- (1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業<sup>※</sup>の株式に投資してまいりました。  
※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。
- (3) 個別銘柄の売買については、英国の高級ブランド会社株やカナダの衣料・アパレル株などを新規に買い付けました。一方、米国の家庭用品小売りなどの株式を一部売却しました。

**[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース]****・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

**・為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

## <Aコース/Bコース>

### [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース]

#### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

## ◎今後の運用方針

### [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド]

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しており、こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有している点も投資魅力を高めていると考えます。世界中の多くの人々は新型コロナウイルスの感染が拡大する中、行動制限や自粛などを経験し、その反動から「リベンジ消費」の意欲が高まっていると考えられ、人々が日常を取り戻し、プレミアム・ブランドなどの高額商品の消費を拡大させていく中で、特に最高レベルの魅力と信頼を有するプレミアム・ブランドが相対的に高い売上高成長率と高収益性を示すことが出来ると考えます。

ファンドの運用に際しては、消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。潜在的な成長力を考慮すると、足元のバリュエーション（投資価値評価）水準は魅力的であると考えています。

### [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース]

主要投資対象である [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

### [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース]

主要投資対象である [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年2月23日～2021年8月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	182	0.932	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 97 )	( 0.494 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 75 )	( 0.384 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 11 )	( 0.055 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.039	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 8 )	( 0.039 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	30	0.152	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 30 )	( 0.152 )	
(d) そ の 他 費 用	6	0.033	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 6 )	( 0.031 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	226	1.156	
期中の平均基準価額は、19,552円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

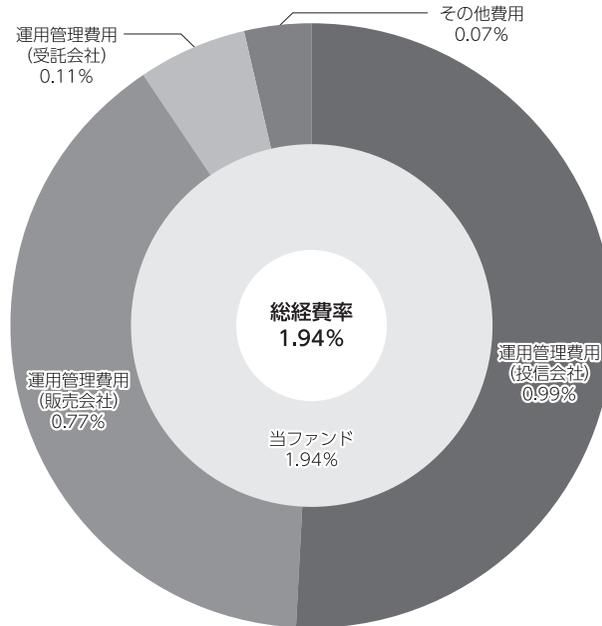
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 4,393,908	千円 18,445,271	千口 427,409	千円 1,831,500

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	35,464,244千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,393,264千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.51	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 利害関係人との取引状況

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース>  
該当事項はございません。

<野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
株式	百万円 33,868	百万円 171	% 0.5	百万円 1,595	百万円 -	% -

平均保有割合 45.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## &lt;Aコース&gt;

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,229千円
うち利害関係人への支払額 (B)	135千円
(B) / (A)	3.2%

\* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2021年8月23日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 578,485	千口 4,544,984	千円 19,726,139

\* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千円 19,726,139	% 93.6
コール・ローン等、その他	1,347,886	6.4
投資信託財産総額	21,074,025	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（41,806,689千円）の投資信託財産総額（44,873,545千円）に対する比率は93.2%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.85円、1英ポンド=149.88円、1スイスフラン=119.77円、1ユーロ=128.55円、1香港ドル=14.10円、1ランド=7.17円。

## &lt;Aコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	39,835,588,766
コール・ローン等	64,221,683
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	19,726,139,930
未収入金	20,045,227,153
(B) 負債	19,930,959,160
未払金	18,780,834,077
未払収益分配金	1,031,346,517
未払解約金	7,571,103
未払信託報酬	111,011,566
未払利息	56
その他未払費用	195,841
(C) 純資産総額(A-B)	19,904,629,606
元本	10,313,465,171
次期繰越損益金	9,591,164,435
(D) 受益権総口数	10,313,465,171口
1万円当たり基準価額(C/D)	19,300円

(注) 期首元本額は1,202,925,736円、期中追加設定元本額は9,535,747,893円、期中一部解約元本額は425,208,458円、1口当たり純資産額は1,9300円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額90,067,954円。(野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

## ○損益の状況 (2021年2月23日～2021年8月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,018
支払利息	△ 16,018
(B) 有価証券売買損益	999,229,951
売買益	1,266,897,335
売買損	△ 267,667,384
(C) 信託報酬等	△ 111,213,347
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	888,000,586
(E) 前期繰越損益金	282,304,146
(F) 追加信託差損益金	9,452,206,220
(配当等相当額)	( 5,938,533,960)
(売買損益相当額)	( 3,513,672,260)
(G) 計(D+E+F)	10,622,510,952
(H) 収益分配金	△ 1,031,346,517
次期繰越損益金(G+H)	9,591,164,435
追加信託差損益金	9,452,206,220
(配当等相当額)	( 5,948,674,569)
(売買損益相当額)	( 3,503,531,651)
分配準備積立金	138,958,215

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年2月23日～2021年8月23日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年2月23日～ 2021年8月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	30,513,901円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	857,486,685円
c. 信託約款に定める収益調整金	9,452,206,220円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	282,304,146円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	10,622,510,952円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	10,299円
g. 分配金	1,031,346,517円
h. 分配金(1万円当たり)	1,000円

## &lt;Aコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年2月23日～2021年8月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 189	% 0.932	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(100)	(0.494)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 78)	(0.384)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 11)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.037	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 8)	(0.037)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	30	0.146	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 30)	(0.146)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.032	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 6)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	233	1.147	
期中の平均基準価額は、20,307円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

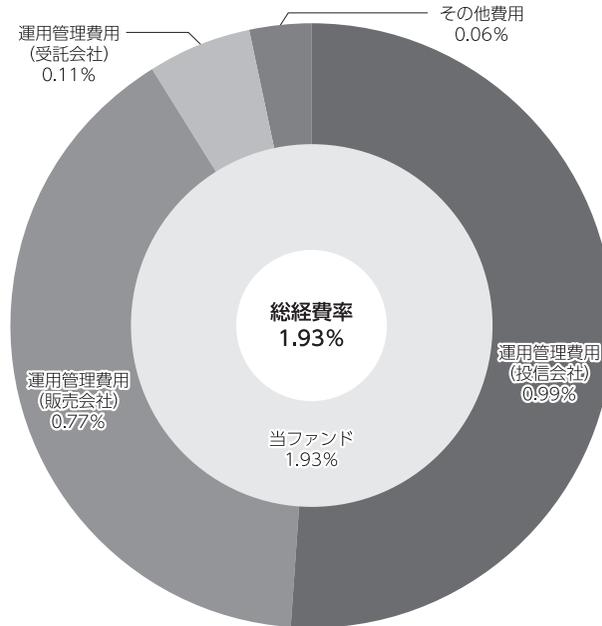
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt;Bコース&gt;

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 4,106,538	千円 17,492,009	千口 309,395	千円 1,324,300

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	35,464,244千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,393,264千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.51	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年2月23日～2021年8月23日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース&gt;

該当事項はございません。

## &lt;野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
株式	百万円 33,868	百万円 171	% 0.5	百万円 1,595	百万円 -	% -

平均保有割合 54.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## &lt;Bコース&gt;

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,806千円
うち利害関係人への支払額 (B)	147千円
(B) / (A)	3.1%

\* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2021年8月23日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 1,461,692	千口 5,258,836	千円 22,824,400

\* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千円 22,824,400	% 93.9
コール・ローン等、その他	1,488,278	6.1
投資信託財産総額	24,312,678	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（41,806,689千円）の投資信託財産総額（44,873,545千円）に対する比率は93.2%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.85円、1英ポンド=149.88円、1スイスフラン=119.77円、1ユーロ=128.55円、1香港ドル=14.10円、1ランド=7.17円。

## &lt;Bコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,312,678,565
コール・ローン等	288,277,738
野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	22,824,400,827
未収入金	1,200,000,000
(B) 負債	1,282,035,654
未払収益分配金	1,152,901,524
未払信託報酬	128,906,453
未払利息	255
その他未払費用	227,422
(C) 純資産総額(A-B)	23,030,642,911
元本	11,529,015,248
次期繰越損益金	11,501,627,663
(D) 受益権総口数	11,529,015,248口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,976円

(注) 期首元本額は3,021,534,391円、期中追加設定元本額は8,668,076,280円、期中一部解約元本額は160,595,423円、1口当たり純資産額は1.9976円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額90,067,954円。(野村ビクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

## ○損益の状況 (2021年2月23日～2021年8月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,624
支払利息	△ 16,624
(B) 有価証券売買損益	1,160,299,974
売買益	1,177,272,307
売買損	△ 16,972,333
(C) 信託報酬等	△ 129,133,875
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,031,149,475
(E) 前期繰越損益金	1,200,598,519
(F) 追加信託差損益金	10,422,781,193
(配当等相当額)	( 6,844,862,205)
(売買損益相当額)	( 3,577,918,988)
(G) 計(D+E+F)	12,654,529,187
(H) 収益分配金	△ 1,152,901,524
次期繰越損益金(G+H)	11,501,627,663
追加信託差損益金	10,422,781,193
(配当等相当額)	( 6,853,014,869)
(売買損益相当額)	( 3,569,766,324)
分配準備積立金	1,078,846,470

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年2月23日～2021年8月23日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年2月23日～ 2021年8月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	34,986,410円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	996,163,065円
c. 信託約款に定める収益調整金	10,422,781,193円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,200,598,519円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	12,654,529,187円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,976円
g. 分配金	1,152,901,524円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

## &lt;Bコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド

## 運用報告書

第15期（決算日2021年8月23日）

作成対象期間（2020年8月25日～2021年8月23日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証券で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

**野村アセットマネジメント**

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	233.10	22.3			
11期(2017年8月22日)	21,668	24.4	233.10	22.3	98.7	—	5,915
12期(2018年8月22日)	25,675	18.5	285.22	22.4	95.2	—	7,131
13期(2019年8月22日)	26,179	2.0	280.76	△ 1.6	99.0	—	6,192
14期(2020年8月24日)	29,186	11.5	357.15	27.2	98.9	—	5,642
15期(2021年8月23日)	43,402	48.7	466.10	30.5	98.2	—	42,550

\* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(円換算ベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。

\* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所: MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	357.15	騰落率		
(期首) 2020年8月24日	29,186	—	357.15	—	98.9	—
8月末	30,228	3.6	366.73	2.7	96.3	—
9月末	29,981	2.7	356.19	△ 0.3	97.8	—
10月末	29,112	△ 0.3	352.24	△ 1.4	98.5	—
11月末	34,103	16.8	390.44	9.3	99.2	—
12月末	35,926	23.1	406.42	13.8	96.9	—
2021年1月末	35,167	20.5	415.25	16.3	97.9	—
2月末	37,449	28.3	417.55	16.9	94.1	—
3月末	39,258	34.5	448.45	25.6	94.3	—
4月末	41,724	43.0	467.67	30.9	94.3	—
5月末	42,895	47.0	465.19	30.3	95.7	—
6月末	44,228	51.5	481.20	34.7	96.5	—
7月末	45,133	54.6	486.61	36.2	97.1	—
(期末) 2021年8月23日	43,402	48.7	466.10	30.5	98.2	—

\* 騰落率は期首比です。

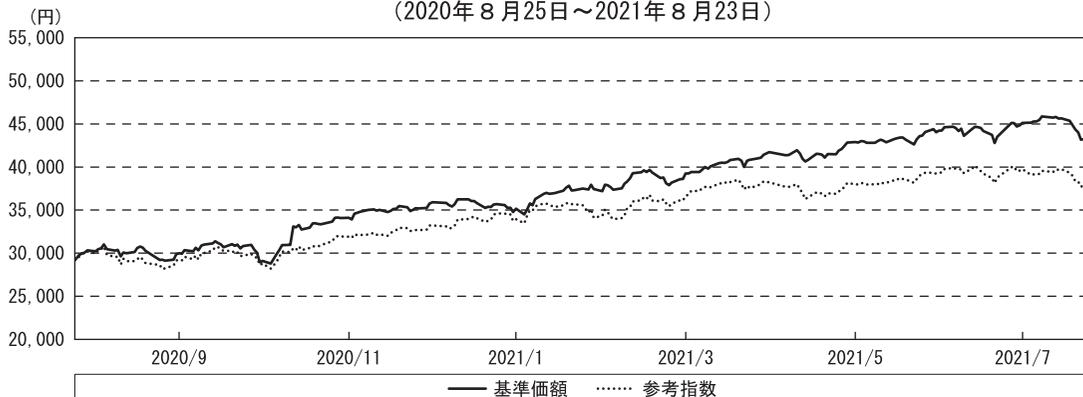
\* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】  
(2020年8月25日～2021年8月23日)



(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首29,186円から期末43,402円となりました。

- (下落) 2020年9月から10月に、欧州などで新型コロナウイルスの感染拡大による景気への影響が懸念されたこと、米国の追加経済対策法案の成立が遅れるとの見方が強まったこと、米国の新規失業保険申請件数やドイツの景気期待指数などが予想以上に悪化したこと、米国大統領選挙を控え先行き不透明感が高まったこと、為替市場で対ドル、対ユーロで円高が進行したこと
- (上昇) 11月初めに米大統領選挙が終了し政治の不透明感が後退したこと、米国で大規模な景気刺激策への期待が高まったこと、中国製造業PMI（購買担当者景気指数）が良好だったこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明で米国の緩和的な金融政策の継続が表明されたこと、新型コロナウイルス向けワクチンの接種開始報道などを背景に景気回復期待が強まり、欧州の高級ブランド株などが続伸したこと、為替市場でユーロ高・円安となったこと
- (上昇) 2021年1月に、米上院でも民主党が過半数を獲得し財政支出拡大への期待が高まったこと、テスラ株に対する強気な見通しが相次ぎ同社株価が急騰したこと、米政府による大規模追加経済対策の協議進展期待が高まったこと、新型コロナウイルス向けワクチンの早期普及期待から旅行・ホテル・クレジットカード関連株中心に上昇したこと、

2020年10－12月期決算で市場予想を上回る業績を発表した企業が相次いだこと、為替市場でドル高・円安となったこと

- (下落) 3月に、米国の長期金利の上昇が警戒されたこと、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などが懸念されたこと
- (上昇) 4月に、米国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進み米景気の回復基調が強まるとの見方が広がったこと、米国の堅調な1－3月期企業決算や実質GDP（国内総生産）成長率などが好感されたこと、欧州企業の堅調な決算発表が続いたこと、ECB（欧州中央銀行）が金融緩和策の維持を決定したこと、為替市場でユーロ高・円安が進んだこと
- (下落) 5月に、4月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を上回り長期金利が上昇したこと、4月の中国PPI（卸売物価指数）上昇率が市場予想を上回るなどしインフレ警戒感が高まったこと
- (上昇) 6月に、5月の米雇用統計を受け米長期金利が低下基調となったこと、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げを急がない姿勢を示したこと、バイデン米大統領が超党派の上院議員とインフラ投資法案で合意に達したこと、5月のユーロ圏製造業PMIが上方修正されるなど底堅い経済指標が発表されたこと
- (上昇) 7月に、市場予想を上回る4－6月期の米企業決算発表が相次いだこと、FOMCを受け量的緩和の早期縮小観測が後退したこと、ECBが金融政策の先行き指針を変更し超低金利政策を粘り強く続ける方針を示したこと
- (下落) 8月に、新型コロナウイルスの変異型の感染が世界各地に拡大したこと、中国習主席による「高所得への規制」強化が打ち出され一部の欧州高級ブランド株が下落したこと、為替市場でユーロ安・円高が進んだこと

## ○投資環境

世界株式市場は、新型コロナウイルスの感染再拡大や2020年11月の米国大統領選挙を前に、期初は横這い推移となりました。しかし、米国大統領選挙が終了し政治の不透明感が後退したこと、新型コロナウイルス向けのワクチン開発の進展報道が相次いだこと、各国の景気刺激策の拡大期待が強まったことなどを背景に上昇基調が強まりました。その後、米国で早期利上げ観測が高まり一時下落に転じましたが、米当局者による早期利上げ観測を打ち消す発言などから持ち直し反発しました。期末にかけ、変異型新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたほか、中国で習主席により「高所得への規制」強化が打ち出されたことなどをを受け下落に転じましたが、好調な企業業績や景気回復期待などを背景に株式市場は総じて堅調な推移となりました。

為替市場では、コロナ後の世界経済正常化期待などからユーロが対ドル、対円で上昇（円安）基調となりました。その後も、米国の金融政策の行方を巡り、ドルは上下に振れましたが、ECBが金融政策の先行き指針を変更し、超低金利政策を粘り強く続ける方針を示したことなどから、ユーロは再び対ドルで下落する展開となりました。一方、ドル円レートは、米国の早期利上げ観測などを背景に、年明け以降はドル高基調となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針をもとに当期間は以下のような運用を行いました。

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

(1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

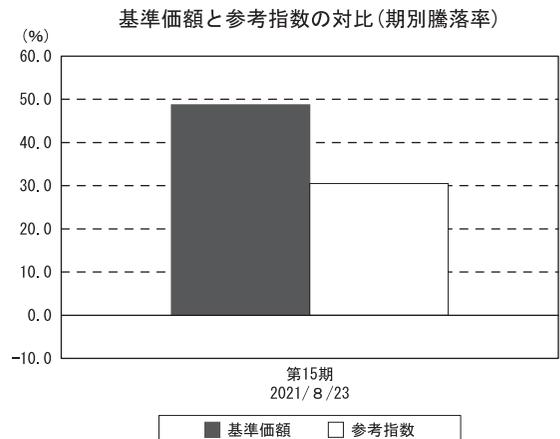
(2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行い、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

(3) 個別銘柄の売買については、英領バージン諸島籍の衣料品・アクセサリ持株会社株や、英国のホテル運営会社株などを新規に購入したほか、スイスの高級ブランド企業などの株式を買い増しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）の30.5%の上昇に対し、基準価額は48.7%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有であった米国のオンライン小売会社の株価が市場を下回って推移したことや、保有上位のアメリカン・エクスプレス株（米国、クレジットカード会社）やエステローダー株（米国・化粧品メーカー）が上昇したことなどがプラスに寄与しました。



(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しており、こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。また、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有している点も投資魅力を高めていると考えます。世界中の多くの人々は新型コロナウイルスの感染が拡大する中、行動制限や自粛などを経験し、その反動から「リベンジ消費」の意欲が高まっていると考えられ、人々が日常を取り戻し、プレミアム・ブランドなどの高額商品の消費を拡大させていく中で、特に最高レベルの魅力と信頼を有するプレミアム・ブランドが相対的に高い売上高成長率と高収益性を示すことが出来ると考えます。

ファンドの運用に際しては、消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。潜在的な成長力を考慮すると、足元のバリュエーション（投資価値評価）水準は魅力的であると考えています。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年8月25日～2021年8月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 26 ( 26 )	% 0.071 (0.071)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	98 ( 98 )	0.265 (0.265)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	23 ( 23 ) ( 0 )	0.063 (0.063) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	147	0.399	
期中の平均基準価額は、37,100円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年8月25日～2021年8月23日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 165	千円 1,302,315	千株 1	千円 12,286
	アメリカ	百株 12,748 ( 242)	千米ドル 162,163 (△ 44)	百株 925	千米ドル 13,782
外	イギリス	5,793	千英ポンド 18,805	215	千英ポンド 719
	スイス	948 ( - )	千スイスフラン 13,831 (△ 6)	39 ( - )	千スイスフラン 760 ( 6)
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	906	13,860	95	1,678
	イタリア	1,541	14,460	255	2,776
	フランス	1,989	55,939	171	5,763
	オランダ	3,545	3,693	154	186
	スペイン	2,425	1,607	-	-
	香港	8,572	千香港ドル 21,462	1,305	千香港ドル 3,466

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	スイス	証券 - (46,798)	千スイスフラン - ( 6)	証券 -	千スイスフラン -

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分です。

## ○株式売買比率

(2020年8月25日～2021年8月23日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	38,736,518千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,876,829千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.60

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年8月25日～2021年8月23日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	35,670	171	0.5	3,066	—	—
為替直物取引	45,591	53	0.1	13,812	—	—

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	10,113千円
うち利害関係人への支払額 (B)	283千円
(B) / (A)	2.8%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2021年8月23日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)		千株	千株	千円
資生堂	10.7		174.6	1,220,454
合 計	株 数 ・ 金 額	10.7	174.6	1,220,454
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	< 2.9% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	233	948	15,146	1,663,864	消費者金融	
APPLE INC	63	1,178	17,460	1,918,067	コンピュータ・周辺機器	
BROWN-FORMAN CORP-CL B	221	1,117	7,773	853,899	飲料	
CANADA GOOSE HOLDINGS INC	—	1,251	4,536	498,345	繊維・アパレル・贅沢品	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	232	1,091	13,288	1,459,756	ホテル・レストラン・レジャー	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	127	490	16,197	1,779,347	パーソナル用品	
LULULEMON ATHLETICA INC	46	436	17,346	1,905,478	繊維・アパレル・贅沢品	
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	184	1,194	15,664	1,720,751	ホテル・レストラン・レジャー	
NIKE INC-B	307	1,047	17,578	1,930,945	繊維・アパレル・贅沢品	
RALPH LAUREN CORPORATION	—	250	2,912	319,919	繊維・アパレル・贅沢品	
STARBUCKS CORP	240	1,139	13,067	1,435,462	ホテル・レストラン・レジャー	
TESLA INC	14	178	12,148	1,334,541	自動車	
V F CORP	301	882	6,747	741,175	繊維・アパレル・贅沢品	
VISA INC-CLASS A SHARES	92	696	16,117	1,770,528	情報技術サービス	
WILLIAMS SONOMA INC	—	51	849	93,369	専門小売り	
CAPRI HOLDINGS LTD	—	1,726	9,380	1,030,478	繊維・アパレル・贅沢品	
GARMIN LTD	101	550	9,382	1,030,706	家庭用耐久財	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,166	14,232	195,599	21,486,638	
	銘柄 数 < 比 率 >	13	17	—	< 50.5% >	
(イギリス)			千英ポンド			
DIAGEO PLC	506	2,607	9,185	1,376,794	飲料	
BURBERRY GROUP PLC	—	2,134	3,895	583,783	繊維・アパレル・贅沢品	
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	—	1,342	6,005	900,029	ホテル・レストラン・レジャー	
小 計	株 数 ・ 金 額	506	6,084	19,085	2,860,607	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	3	—	< 6.7% >	
(スイス)			千スイスフラン			
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC	1	5	6,193	741,814	食品	
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	80	984	9,744	1,167,059	繊維・アパレル・贅沢品	
小 計	株 数 ・ 金 額	81	990	15,937	1,908,874	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 4.5% >	

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額	当期末		
		株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円		
ADIDAS AG	87	317	9,600	1,234,193	繊維・アパレル・贅沢品	
PUMA SE	109	690	7,343	944,023	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額	197	1,008	16,944	2,178,216	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<5.1%>	
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA	155	631	3,120	401,194	繊維・アパレル・贅沢品	
FERRARI NV	114	566	10,281	1,321,724	自動車	
MONCLER SPA	196	555	2,994	384,894	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額	467	1,753	16,396	2,107,813	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<5.0%>	
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD	83	302	11,870	1,525,987	パーソナル用品	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	51	183	11,357	1,459,962	繊維・アパレル・贅沢品	
PERNOD RICARD SA	125	601	10,576	1,359,558	飲料	
REMY COINTREAU	32	183	3,022	388,554	飲料	
HERMES INTERNATIONAL	19	86	10,614	1,364,545	繊維・アパレル・贅沢品	
KERING SA	26	126	8,278	1,064,171	繊維・アパレル・贅沢品	
ESSILORLUXOTTICA	151	825	13,260	1,704,641	繊維・アパレル・贅沢品	
SMCP S.A.S.	271	271	134	17,269	専門小売り	
小計	株数・金額	762	2,580	69,114	8,884,691	
	銘柄数<比率>	8	8	—	<20.9%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MIRANO NV	272	3,664	4,247	545,955	飲料	
小計	株数・金額	272	3,664	4,247	545,955	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.3%>	
(ユーロ…スペイン)						
MELIA HOTELS INTERNATIONAL SA	—	2,425	1,381	177,610	ホテル・レストラン・レジャー	
小計	株数・金額	—	2,425	1,381	177,610	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.4%>	
ユーロ計	株数・金額	1,700	11,432	108,084	13,894,287	
	銘柄数<比率>	14	15	—	<32.7%>	
(香港)				千香港ドル		
L OCCITANE INTERNATIONAL SA	3,672	10,940	28,498	401,831	パーソナル用品	
小計	株数・金額	3,672	10,940	28,498	401,831	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.9%>	
合計	株数・金額	8,127	43,680	—	40,552,239	
	銘柄数<比率>	31	38	—	<95.3%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国新株予約権証券

銘柄	株数	株数	期末		
			証券数	評価額	
		証券数	証券数	外貨建金額	邦貨換算金額
(スイス)				千スイスフラン	千円
CIE FINANCIERE RICHEMO-CW23	—	46,798	21	2,522	2,522
合計	証券数・金額	—	46,798	21	2,522
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.0%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\* 単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	41,772,693	93.1
新株予約権証券	2,522	0.0
コール・ローン等、その他	3,098,330	6.9
投資信託財産総額	44,873,545	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(41,806,689千円)の投資信託財産総額(44,873,545千円)に対する比率は93.2%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=109.85円、1英ポンド=149.88円、1スイスフラン=119.77円、1ユーロ=128.55円、1香港ドル=14.10円、1ランド=7.17円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月23日現在)

## ○損益の状況 (2020年8月25日～2021年8月23日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,433,539,659
コール・ローン等	3,087,583,209
株式(評価額)	41,772,693,130
新株予約権証券(評価額)	2,522,248
未収入金	560,854,725
未収配当金	9,886,347
(B) 負債	2,883,355,920
未払金	583,354,290
未払解約金	2,300,000,000
未払利息	1,630
(C) 純資産総額(A-B)	42,550,183,739
元本	9,803,820,275
次期繰越損益金	32,746,363,464
(D) 受益権総口数	9,803,820,275口
1万口当たり基準価額(C/D)	43,402円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	102,066,012
受取配当金	102,790,878
受取利息	782
支払利息	△ 725,648
(B) 有価証券売買損益	3,677,378,918
売買益	4,421,513,931
売買損	△ 744,135,013
(C) 保管費用等	△ 8,960,144
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,770,484,786
(E) 前期繰越損益金	3,709,165,470
(F) 追加信託差損益金	28,284,932,386
(G) 解約差損益金	△ 3,018,219,178
(H) 計(D+E+F+G)	32,746,363,464
次期繰越損益金(H)	32,746,363,464

(注) 期首元本額は1,933,253,483円、期中追加設定元本額は8,849,547,614円、期中一部解約元本額は978,980,822円、1口当たり純資産額は4,3402円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース 5,253,836,189円  
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース 4,544,984,086円

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。